

県内経済の動き

概況

〔8月～10月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（8月）は2カ月ぶりに前月比・前年同月比共に低下、通関輸出額（9月 細島港）は7カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（9月 全店ベース）は10カ月連続で前年同月比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（10月）、新設住宅着工戸数（9月）は共に2カ月ぶりに前年同月比増加した。公共工事（10月 保証対象請負総額）は2か月ぶりに前年同月比増加した。有効求人倍率（9月：1.50倍）は前月比0.01ポイント上昇した。10月の企業倒産は、前月比1件減の1件となり、負債総額は3億円と同1億57百万円増加した。

県内経済は、百貨店・スーパー販売額の前年割れが続くなど、個人消費の一部に弱さがみられるものの、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。